

.....  
お 知 ら せ  
.....

### 名古屋大学空電研究所助手公募

名古屋大学空電研究所では、下記の通り助手一名を公募します。

記

1. 公募人員: 助手一名
2. 所 属: 太陽電波世界資料解析センター
3. 専門分野: 太陽高エネルギー現象 (学問分野としては電波天文学, X線天文学, 太陽物理学等)
4. 仕事の内容: 太陽電波将来計画の推進
5. 着任時期: 決定後なるべく早い時期
6. 応募資格: 1987年4月に修士課程終了またはこれと同等以上の学識・研究業績を持つ者
7. 提出書類: ・履歴書 (研究歴の説明を含む)  
・論文リストと主な別刷 (共著の場合は役割分担を具体的に示すこと)  
・推薦書 (他薦の場合) または研究上の抱負 (自薦の場合)  
・自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名, 連絡先
8. 応募締切: 1987年2月14日
9. 書類提出及び問い合わせ先:  
〒442 豊川市穂ノ原3丁目13番地  
名古屋大学空電研究所 緩目信三  
電話 05338-6-3154  
05338-4-5711

### 基礎物理学研究所短期研究会「宇宙論と相対論的天体現象」

(研究会の趣旨)

昨年度開催した基研短期研究会「10年スケールで考えた天体物理学の展望」には、予想を上回る多分野からの多数 (約100名) の参加者があり、今後の天体物理学の方向に関して有意義かつ活発な議論が行われました。その研究会を通じて今後緊急かつ重要な課題として浮かび上がった一つが、今回提案する研究会の表題「宇宙論と相対論的天体現象」です。

最近の宇宙論の理論的發展には目覚ましいものがあり、素粒子理論や量子重力理論をベースに宇宙の初期状態についての理解が深まって来ています。一方、様々な観測手法・技術の進歩によって、宇宙の大域的構造に関する重要な観測データが数多く得られつつあります。そこでこれらの理論的理解と観測的事実とをいかにコンシステントに結びつけ得るかが、現在の重要な課題となっ

てきています。又、QSO・中性子星・ブラックホール等の相対論的天体を対象とした分野においても同様に、数多くの重要な観測がなされつつあり、理論と観測との間に非常に好ましい緊張関係が形成されています。そしてこの二つの分野に共通した重要なキポイントとして、それぞれの対象とそれに付随した物理過程における一般相対論的效果の正確な理解が、以前にも増して必要となってきました。

そこで今回は、上記の表題で、特に宇宙における一般相対論的現象の理解を深める事を主な目的として研究会を開催したいと考えています。具体的には、

- \*宇宙論: 量子宇宙論, 宇宙における相転移, 宇宙の大域的構造, 銀河形成, 3Kの非等方性, 重力波等
- \*相対論的天体現象: ブラックホール, 超高密度物質, 中性子星, 重力波, ニュートリノ天文学等

を中心にして、その理論と観測の現状やその相互関係、今後の方向性等に関する議論を行ないたいと考えています。

世話人: 池内 了, 佐藤勝彦, 富松 彰, 藤本真克,  
荒船次郎, 江里口良治, 中村卓史, 佐々木 節

日 時: 昭和62年3月16日(月)~19日(木)

場 所: 京都大学基礎物理学研究所

昭和62年1月31日締切で講演を公募します。なお旅費の配分については、世話人におまかせください。

申込先: 〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部物理学第二教室

中村卓史

### 近 刊 予 告

日本天文学会編「流星観測用星図」が近く出版されます。

流星観測用には、いままで、当学会編の「肉眼恒星図」(12枚組)が広く使われてきました。今回出版されるものはこの改訂版というべきもので、つぎのような特徴もっています。

1. 収録恒星を5.5等まで増やした (従来は5.0等)。
2. 分点をJ2000.0とした。
3. 星座境界線を取り去り、星名もごく僅かにして、流星経路記入の邪魔にならないようにした。
4. 32枚の星図で、十分の重なりをもって全天球を覆うようにした。

さらにこの星図は、コンピューター出力をそのまま印刷して編集したことも大きな特徴です。原図の製作及び解説は本会会員長沢 工氏が担当しました。流星観測にはアマチュアの協力が不可欠である現在、この星図がこ

れからの流星観測に役立ち、また一方恒星の肉眼観測の一助となるものと期待されます。

なお、流星観測用として、本星図一葉ずつのバラ売りを検討中です。

日本天文学会編：「流星観測用星図」/発行：恒星社厚生閣/A 4判/星図 32 枚、本文 16 ページ/定価 1300 円。

**第 17 回彗星会議のお知らせ（マースデン博士を特別ゲストに迎えて）**

日 時： 昭和 62 年 3 月 21 日（土： 会場及び日程  
春分の日）～ 22 日（日）

参加申込方法：

参加を希望される方は、60 円切手を貼った返信用封筒を同封の上、右記までお問い合わせください。

なお、宿泊受入人員に限りがありますので、申込はお早めに！！

また同時に研究発表の申込みも受けません。

申 込 先： 静岡光学（担当 青島）  
住所：〒421-01 静岡市広野 2 丁目 11 番 32 号  
電話：0542-58-7533

申込期限： 昭和 62 年 2 月末日まで

実行委員 掛井 亘  
電話 0542-62-2275

	第 1 日	第 2 日
会 場	静岡県労政会館 6 階大ホール 静岡市黒金町 5-1	静岡県立中央図書館大会議室 静岡市谷田 620
内 容	マースデン博士の講演 質疑応答その他	研究発表、分科会、I HW 報告 その他
その他	13:00 受付開始	15:30 閉会

**1986 年 10 月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)**

1	—	—	11	—	—	21	2,	44
2	1,	3	12	1,	2	22	3,	51
3	2,	6	13	3,	13	23	3,	50
4	2,	9	14	0,	0	24	3,	74
5	2,	6	15	0,	0	25	4,	85
6	2,	5	16	0,	0	26	4,	68
7	—	—	17	1,	7	27	5,	37
8	—	—	18	1,	14	28	—	—
9	3,	16	19	1,	22	29	—	—
10	—	—	20	1,	42	30	6,	22
(相対数月平均値：29.0)						31	5,	32

**◇ 1 月の天文暦 ◇**

日 時	記 事
5 8	地 球 近日点通過
6 6	小 寒 (太陽黄経 285°)
7 8	上 弦
13 2	水 星 外合
13 14	月 最遠
15 12	望
16 6	金 星 西方最大離角
20 24	大 寒 (太陽黄経 300°)
23 8	下 弦
28 20	月 最近
29 23	朔

**◇ 1 月の日月惑星運行図 ◇**

